



愛川ふれあいの村1月の風景

平成24年 1月 自然のたより

年が明けて、この冬、初めての雪が愛川ふれあいの村にも降りました。日向では雪に太陽の光が反射し、幻想的な雰囲気醸し出しています。日陰ではつらら、樹氷や霜柱など、自然が創り出す芸術作品があちこちで見られます。

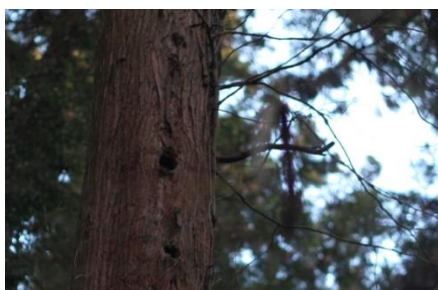
<1月の自然のエピソード>

木々の間ではイカルやカワラヒワが寒さに負けず元気にヤシャブシの実を食べに来ています。静かな村内ではムササビの飛び姿や、タヌキやシカが遊びに来た足跡も確認ができます。

フデリンドウが顔を出し、日当たりのよい場所ではカントウタンポポが咲いています。寒いけれど春の兆しも見えています。



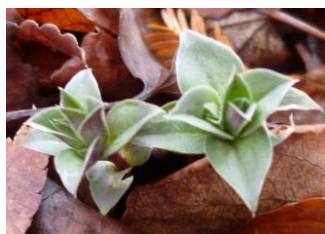
タヌキの足跡



ムササビの巣穴



イカル



フデリンドウ



殻を脱ぎはじめたコブシ



いい匂いがするロウバイ



モズ（オス）



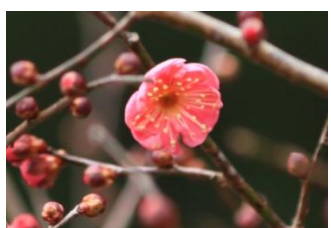
カントウタンポポ



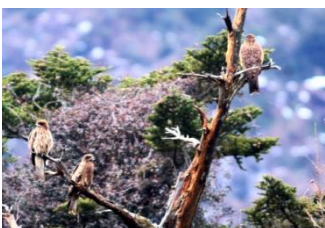
スギの倒木更新



スイセン



ウメの花



トビ



雪化粧をした沙汰祭り



芸術的な樹氷

写真撮影・編集：吉田、葉